

2023年度事業報告書

特定非営利活動法人 釜ヶ崎支援機構

I 事業期間

2023年4月1日～2024年3月31日

II 事業の成果と課題

(1) 日常生活支援住居施設開設に向けた土地取得

2020年より取り組んでいる居住支援事業の発展的事業でもある、「日常生活支援住居施設」の開設に向け萩之茶屋3丁目の空き地を購入しました。今後資金を調達し施設建設を実施する予定です。日常生活支援住居施設はサポートを受けることで居宅での一人暮らしでの生活が実現できる人を対象とした新たな施設で現在大阪市内では実施されていない事業です。

(2) 中間就労の場とした店舗「ヨリドコキッチン」の開設

市営住宅萩之茶屋第二住宅にある空き店舗を借り、中間就労の場づくりとした店舗「ヨリドコキッチン」をオープンしました。サービスハブ事業の利用者を対象として、長期間就労ブランクがある方や飲食店就労に興味がある求職者の就労体験の場として「お食事処」として開店しています。将来的にさまざまな地域課題の解決やコミュニティの場として発展させていく予定です。また、西成特区構想の中で「街のにぎわい」が求められている状況の中で、釜ヶ崎で暮らす人たちが地域を盛り上げ、まちづくりを行う場としても今後期待しています。

(3) 新型コロナ住まいとくらし緊急サポートプロジェクトOSAKAの再組織化

新型コロナが5類に移行するなか、2020年から始まった新型コロナの影響による失業等で住まいを失った方のサポート体制を構築するために釜ヶ崎支援機構が呼びかけを行いALL大阪の支援団体が協力し設立した新型コロナ住まいとくらし緊急サポートプロジェクトOSAKAを今後も大阪の困窮状態の方などへの社会資源として存続し、今後より発展させていくため、組織を再編しました。

組織名を「住まいとくらしSOSおおさか」に変更するとともに、団体設立趣意書の整備や参加に関する規約の作成などをおこないました。また、新たに以下の活動も取り組みより充実化させました。

① ポンポコカフェ

子育て世帯や女性を対象とした食料、日用品配布及び相談受付を行うイベントを2回開催しました。このイベントは西成区役所・西成区社会福祉協議会と共催の形で実施しました。釜ヶ崎支援機構は従来「単身男性」を対象とする活動が多くを占めている中で今までの経験を活かしつつ、地域内のさまざまな団体と協力しながら女性・子育て世帯を対象とした支援に取り組んでおり、全く新しい領域での活動となりました。

2回の開催で合計200名以上の方が来場しました。

センター（児相）からの繋ぎも複数あり、今までになかった新しい領域での活動となりました。

また、ご飯会などを開催し入居者の若者たちとの交流機会づくりを行ったり、地域ボランティア活動の参加なども行いました。



② 総合支援付き居住支援

2020年度から自主事業で始まった総合支援付き居住支援を今年度も継続して実施しており、全22室のワンルームマンションを借り上げ、住まいを失った若者に住まいに加えて総合的な支援を提供しています。2023年度は合計で25名の方が利用しており、ほぼ満室の状態が続き本事業の必要性を感じています。また、事業運営方法の見直しを行い、家賃回収方法や請求方法の見直しも実施しました。

③ ヨリドコオンライン

主に若者を対象にしたアウトリーチと相談対応を行なっているヨリドコオンラインではLINEによる相談を受け付けています。あまり広報ができていない状況にも関わらず、相談件数は年々増えており2023年度は年間で105件の相談を受け付けました。

（5）新今宮エリア魅力向上有限責任事業組合の発足

萩之茶屋地域周辺まちづくり合同会社の呼びかけを受け、新今宮エリア魅力向上有限責任事業組合（LLP）へ法人として参加することとなりました。このLLPの主たる目的は新今宮スタディツアーを企画実施であり、今後の釜ヶ崎のまちづくりの中で重要な役割を担う事業であると考えています。



（6）釜ヶ崎の夏祭り・越冬闘争に、資材準備・設営・経理等で参加しました。

夏祭りに関しては近年コロナ禍の影響でさまざまな制約の中規模を縮小して開催をしていましたが、今年度はやっと通常開催ができることが決定したものの、台風の直撃と重なってしまい1日だけの開催となってしまいました、それでも例年通り釜ヶ崎の人々と共に、野宿を強いられない社会を求めて、地域の団体と協力して、夏祭り・越冬闘争に参加しました。

Ⅲ事業の実施状況

(1) 就労機会提供事業

① あいりん地域高齢労働者就労自立支援事業

大阪府から「あいりん地域高齢労働者就労自立支援事業」を受託しました。

そのうち「あいりん地域外清掃業務」では、府立施設・府立高校・道路・河川等で、除草・清掃・剪定等の作業を行いました。

「西成労働福祉センター周辺交通安全警備業務」では、あいりん労働福祉センターに出入りする求人車両の誘導ならびに清掃作業、旧あいりん総合センター敷地内の清掃作業を実施しました。

両業務を合わせて、30,647人を雇用しました。

② あいりん日雇労働者等自立支援事業高齢日雇労働者社会的就労支援業務

大阪市からは「あいりん日雇労働者等自立支援事業」内「高齢日雇労働者社会的就労支援業務」を受託しました。

そのうち、「あいりん地域内及びその周辺の環境美化に関する作業」においては、あいりん地域内及びその周辺の道路清掃、側溝清掃、除草作業を実施しました。

「あいりん地域外の環境美化に関する作業」においては、市有地・道路・公園等での除草・剪定および清掃等、市立保育所でのペンキ塗り・剪定・修繕等の作業を実施しました。

全作業を併せて25,615人を雇用しました。

③ あいりん労働センター建物敷地内巡回業務

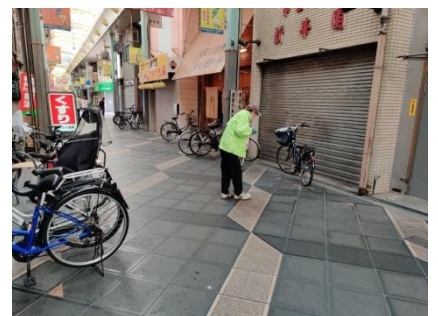
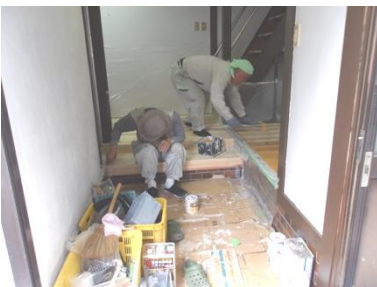
大阪労働局及び大阪府商工労働部より委託を受け、あいりん労働センターの維持管理のため建物敷地内巡回を実施しました。

④ メーデー会場清掃業務

連合大阪の協力によるメーデー会場の清掃業務が行われ、シェルターの利用者が就労しました。

⑤ その他請負業務

民間企業等から幅広く除草・塗装・剪定等の作業を請負って実施し、釜ヶ崎の日雇労働者やホームレス生活者の就業機会の確保に努めました。



(2) 居場所提供事業

① あいりん日雇労働者等自立支援事業居場所支援

夜間シェルターの運営

大阪市から委託を受けて、あいりんシェルター管理運営業務を実施しました。開所日数は360日。のべ利用人数 45,444人。高齢者を中心としたコロナ感染予防対策として、簡易宿所を借上げて使用して来ましたが、コロナの感染症分類引き下げ以降、簡易宿泊所の借り上げは廃止しました。

昼の居場所棟の運営

大阪市から委託を受けて、あいりんシェルター内昼の居場所棟（禁酒の館）にて、居場所・洗濯機・シャワー等の提供を行いました。

② あいりん日雇労働者等自立支援事業越年時支援

2023年12月29日から翌1月4日早朝まで、あいりん地域に居住する単身日雇労働者であって、年末年始に仕事を得られないため自ら食及び住を求めがたい方172人（簡易宿所入室含む）に対し、あいりんシェルターにて宿泊場所を提供するとともに食品・日用品等を支給しました。

また、地域の日雇労働者、生活困窮者からスタッフを採用し、就労機会を作りました。

12月30日以後に生活困窮状態で相談に来られて結核検診を受けていない方について、簡易宿所を活用して支援を行いました。

(1) 相談・サポート事業

① 就業支援事業

大阪ホームレス就業支援センター運営協議会から委託を受けて、就労自立を目指す人への就職相談・就職支援事業を実施し、求人情報の提供・求人企業への紹介、面接の受け方および履歴書作成の指導をしました。履歴書用の写真撮影・提供、携帯電話・自転車・スーツ等の貸し出しを行いました。南事務所にパソコンを設置して、ハローワークインターネットサービスの求人検索用に提供しました。2023年度新規登録人数は153人、相談実人数は311人、相談件数は1,276件、常用就職実績41人、臨時就職延人数は2,399人となりました。

また、常用就職実績41名の内、常(※)用は31名、臨(※)時・軽易は10名でした。常用31名の内17名が住込みの派遣に就職された方でした。本年度の特徴としては新規登録者平均年齢が3歳若年下したことにありました。要因としましては、居住支援やサービスハブで支援している若年層の就労相談が増加したことによるものだと考えています。他部門との連携を促進することでより多くの年齢層の方の就労支援を実施できた年度となりました。

前年度に引き続き、大阪ホームレス支援センターからの要請に基づき、パソコン初心者向け の教室を開催しています。初年度の内容を踏まえつつ、さらなる支援と受講者に対するよりよい効果を目指して活動を継続しています。2年目の活動では、初年度のフィードバックや受講者のニーズを考慮

し、より実践的な内容に焦点を当てました。例えば、仕事によく使うExcelの操作やメールの送受信、クラウドサービスを利用した書類のダウンロードの方法なども扱いました。

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
受講者数	23名	18名	20名	10名	15名	12名	15名	15名	17名	16名	16名	18名
開催回数	毎月4回開催(のべ48回)											
のべ人数	合計195名											

② 就業開拓推進事業

大阪ホームレス就業支援センター運営協議会から委託を受けて、支援対象者に応じた個別の求人開拓、地域への貢献活動となる仕事の開拓、企業向けの広報宣伝活動を行いました。

③ あいりん地域不安定労働者就労支援事業

民間企業への就職に伴って4ヶ月間の助成金が企業に支払われる仕組みを活用しつつ、自立支援センター入所者やあいりん地域の55歳以下の不安定労働者等を対象に相談・就業支援を実施しました。協力事業所登録状況17社、支援実施状況27名でした。

土日祝のあいりん労働公共職業安定所の待合室で、「いきいき清掃講座」を開催すると共に旧あいりん総合センターの閉所に伴って待機や手洗い等に使用できる施設の不足に対応して、待合室の一般開放を行いました。

いきいき清掃講習の実績は次のとおりです。

コース名	実施日	参加者数
第17期基礎コース	5/28 6/11 6/25	10名
第19期基礎コース	11/5 11/19 12/3	9名
第20期基礎コース	2/4 2/18 3/3	3名
第8回応用編	9/17 9/24	3名
第9回応用編	3/17 3/24	3名



④ あいりん日雇労働者等自立支援事業相談支援

大阪市から「あいりん日雇労働者等自立支援事業」内「相談支援」を受託、実施しました。あい りん地域の日雇労働者等に対し、特別清掃やあいりんシェルターと連携しつつ、健康相談や生活相談等を行い、就労自立、野宿からの脱出を助ける支援を行いました。就業支援員等から現場作業のようすを報告してもらいながら、体調が思わしくない／高齢などの方を相談し、寄り添い型の支援を行いました。

また、歯科相談会・健康相談会を医師・看護師・保健師との協働で開催しました。

実人数3, 166人、のべ11, 899人の相談を行いました。相談のべ人数の内訳は、就労相談321人、生活保護相談1, 068人、健康・保健支援1, 329人、その他相談・各種支援 9, 181人。

⑤ 大阪府済生会と協働した健康診断

例年通り2023年10月23日～10月25日までの3日間 済生会健診がおこなわれました。相談支援事業部では、高血圧による再検査、採血の結果返して、社会医療センター受診が必要な方のフォローをおこないました。年々受診者は減少傾向にありますが、特従事者の健康への意識は以前より高まってきていると感じます。恒例となっている健診ですが、予め自身の通院先で健康診断を受けた結果を持参される方が年々増えつつあります。

(2) 社会的雇用創出事業

① 自転車リサイクルシステムの構築

阿倍野区文の里商店街にあるチャリティ自転車ポタリンを経営しました。事業としては赤字であり、赤字の解消や新しい取り組みに向けて経営の会議を月1回開催しています。

② 公園管理就労体験事業

住之江公園においては大代興業株式会社と、住吉公園においては株式会社美交工業と、都市公園管理共同体を構成し、指定管理者として運営の一端を担いました。

③ 公園管理経験者訓練事業

住之江公園において灌水、除草、樹木剪定、植栽などの作業に、園芸講習の経験者等が従事しました。

④ 内職作業提供事業

民間企業からの受注により、就労の前段階に生活リズムを整えるなど準備期間が必要な方、疾病や障がい等のために、すぐには就労に結びつきにくい方に対して、内職作業を提供しました。就労意欲の助長と収入の増進のために、特掃登録者に作業を提供しました。



(3) 地域活性化事業

① 西成区単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくり事業（ひと花プロジェクト）

大阪市西成区より受託し、単身高齢生活保護受給者の社会的つながりづくりと地域貢献による西成区のイメージアップに取り組みました。新型コロナウイルスの影響により、一部プログラムを実施できず、屋外作業等を中心に活動しました。そのかわりに金銭預り・服薬の見守りを強化、高齢化に対応した様々な生活支援を充実させています。ひと花プロジェクト連合体（まちづくり今宮、山王訪問看護、こえとことばとこころの部屋、釜ヶ崎支援機構）で事業運営を行いました。



② 西成版サービスハブ構築・運営事業（どーん！と西成）

2019年度より大阪市西成区の委託事業として生まれた事業で、2023年で5年目を迎えました。ヨリドコ西成連合体（萩之茶屋地域周辺まちづくり合同会社、サポーターハウス連絡協議会、こえとことばとこころの部屋、まちづくり今宮、釜ヶ崎支援機構）で事業運営を行っています。

本事業は、西成区で生活保護を受給している15歳以上を対象とし、就労支援や生活支援、社会的つながりづくりを実施しています。2023年度の新規利用者数は86名です。前年度から継続している人を含めると142名が利用しました。平均年齢は44歳と若年層の方々の利用が多いことが特徴的です。

自身で求職活動をするも就労に結びつかない方、短期離職を繰り返している方、就労ブランクがある方、引きこもり状態など様々な背景の方が利用されています。

支援実施件数(延件数)

面談	電話面談	メール面談	居宅訪問	通院同行	同行支援 (役所、法律相談、不動産屋など)	就労支援関連 (ハローワーク、西成労働福祉センター 同行など)
1478件	425件	311件	416件	177件	105件	324件

居場所：1597人(延人数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
101人	129人	159人	149人	112人	113人	137人	117人	148人	139人	124人	169人

ヨリドコ西成連合体（萩之茶屋地域周辺まちづくり合同会社、サポーターハウス連絡協議会、こえとことばとこころの部屋、釜ヶ崎支援機構）で事業運営を行いました。



(4) その他の事業

① 「ビッグイシュー」販売支援事業

ビッグイシュー本社より遠い大阪南部での販売者の利便をはかるため、仕入れ中継点としての役割を果たすとともに、さまざまな相談に応じました。販売希望者を受け付け、ビッグイシューへの橋渡しを行いました。

② ネットワーク推進

西成区関連では「区政会議」「あいりん地域まちづくり会議」「包括支援センター運営協議会」に委員として参加しました。あいりん地域モデルケース検討会議に参加しました。

大阪市社会福祉協議会に評議員として参加しました。

西成区社会福祉協議会、今宮社会福祉協議会、NPO法人まちづくり今宮に理事として参加しました。

「ホームレス支援全国ネットワーク」に副理事長として参加しました。

「日本ソーシャルインクルージョン推進会議」「共生型経済推進フォーラム」「NPOまちづくり今宮」に参加しました。

ワーカーズコープとの提携関係を深め、月1回の定期協議を行い、情報の共有を進めました。

③ 炊き出しによる食事の支援

越冬闘争実行委員会、釜ヶ崎就労・生活保障制度実現をめざす連絡会（反失業連絡会）と協働し、炊き出しによる食事支援を行いました。

(7) 社員総会の開催状況

第24回社員総会

日時 2023年6月15日 午後5時～5時30分 場所 釜ヶ崎支援機構南分室2階

会員22名中21名（内委任状6名書面表決書4名）が参加して第24回社員総会を開催しました。事業報告・会計報告・事業計画・予算等を審議し、採択しました。

(8) 理事会の開催状況

理事会は3回開かれ、当法人の活動の大方針について論議し決定しました。

●第33回理事会 日時 2023年6月15日 午後5時30分～6時

場所 釜ヶ崎支援機構南分室2階

●第34回理事会 日時 2023年7月22日 午後4時～5時場所

場所 釜ヶ崎支援機構北事務所南2階

●第35回理事会 日時 2023年8月28日 午後4時～5時場所

場所 釜ヶ崎支援機構北事務所南2階